

十月十八日

何日か前、小笠原さんと新宿で会い、ひろしまハウスの水屋の
 図面を渡した。“ひろし”という人物を連れてきた。これがマア
 けたいな人間で、二人が連れだつて歩く様はまさにフーテンの
 寅と弟分の“ひろし”なのであつた。風景そのものが根こそぎ
 変つてしまつた新宿の、しかも今をときめく南口のビルの壁一杯
 の大スクリーンをバックにして何やらフワついた空気の中を、二
 人が歩く様はまことに異様であつた。今どき珍らしい古びて汚な
 い台湾料理屋に連れていかれ、又様々に面白いホラ話しを聞かさ
 れた。川口慧海がチベット潜入した際にネパール奥地のツクチエ
 に三ヶ月程滞在したのは良く知られている。その時の川口の面倒
 をみたのが小笠原さんの友人の、何だかわからんけれどヨーロッパ
 パでトップモデルであつたジョニーの先祖のセルチャンでありト
 ラチャンでもあり、バタチャンであつたそう。セルチャンが本
 家で分家にも川口は泊つたそう。要するにジョニーの、この人
 物だけ何故ジョニーと呼ばれるのかは知らない。ジョニーの2番
 目の兄さんのところで川口はずいぶんお世話になつたらしい。面
 倒見たよー、という感じ。そのジョニーファミリーがなければチ
 ベットなんか行けなかつたそうで、話しは突然、ジョニーは川喜
 田二郎の紹介で眼の治療を受けるために日本にも来た、と。まあ、
 こんな具合の話しが実に面白く何時間も続くのであつた。夢うつ
 つの一夜の幕間劇であつた。

いずれ、いつの日かカトマンズ盆地のキルティプールの復元作
 業が私のファイナルワークになるのだが、その時には小笠原さん
 に声を掛けてみようかな。それまで元気でいてくれれば良いが。
 十一月六日から開始するA3（エースリー）ワークシヨップ東
 京の講義の準備を始める。開放系技術について初めて少し体系的
 に話してみるつもりである。課題では宮本茂紀さん指導の椅子づ
 くりもやってみようかと考えている。

住宅をテーマとした設計のプログラムには何とか家を建てよう
 としている人の参加を得たいと考えているが実現できるかどうか
 わからない。色々と努力してみよう。明日から一週間そんな人
 を探し当てるのに全精力を集中してみるつもり。丹羽君をワーク
 シヨップに参加させよう。彼を介して少しでも体に障害を持つ人
 が参加してくれたら良いワークシヨップになるかも知れない。